

ウォールアートフェスティバルふくしま in 猪苗代 2022

企画展「良い旅を」

ウォールアートフェスティバルゆかりの作家たちが誘うさまざまな旅のカタチ。

2022年10月



岩切章悟 自由浮遊惑星 OSO

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

ウォールアートフェスティバルふくしま in 猪苗代 2022
企画展「良い旅を」
会場 はじまりの美術館 福島県耶麻郡猪苗代町新町 4873
日程 10月15日(土)～11月6日(日)
開館時間 10:00～18:00 火曜定休日(最終日16:00閉館)
参加アーティスト(50音順) 赤井成彰・浅井裕介・浅野友理子・岩切章悟
大小島真木・傍嶋飛龍・ウィエダ兄弟
はじまりの美術館公式ウェブサイト <https://hajimari-ac.com/>
猪苗代アートプロジェクト公式ウェブサイト
<https://inawashiroartproject.com/>
観覧料 一般 [500円] 高校生以下 [無料]
障がい者手帳をお持ちの方と付添の方(1名まで) [無料]
主催 猪苗代アートプロジェクト実行委員会
共催 ウォールアートフェスティバルふくしま in 猪苗代実行委員会
猪苗代町教育委員会、NPO 法人ウォールアートプロジェクト
社会福祉法人安積愛育園はじまりの美術館
助成 令和4年度福島県地域創生総合支援事業(サポート事業)補助金
後援 猪苗代町(一社)猪苗代観光協会 福島民報社 福島民友新聞社

パンデミックはたくさんの不幸をもたらして、いろいろなことが途絶えてしまったように見えました。STAY HOMEのかけ声のもと、親しい人同士、あるいは旅で出会った人同士が、離れてすごした時間はずいぶん長かったけれど、でも、私たちはちゃんとつながっていたし、これからもいっしょに歩いていくなだと思えたことは、ひとつ、素敵なことでした。

よかった、出会えていて。

よかった、もう一度ハグできて。

旅の途中で出会って、別れて、そしてまた出会い直す。そんな繰り返しは、私たちの人生そのものに思えてきます。だから、今年のウォールアートフェスティバル(WAF)のテーマは「良い旅を」。

ここから彼の地へ。

過去から未来へ。

未来から過去へ。

世代から世代へバトンを受け渡していくこと。

壮大なタビストーリーを編むように、じっくり、見定めながら。

今回の展示にはさまざまな形態の旅が仕込まれています。

取り壊されることが決まっていた学校で壁画を描き、その教室がカケラとなった「時間の旅」を伝える浅井裕介。

自分自身の人生の旅を高校生に伝え、万華鏡というミクロの宇宙の旅に誘う傍嶋飛龍。

文字通り、旅する「家」、モバイルハウスに暮らす赤井成彰。

創世の物語から太古の森、仮想未来へと、先住民ワルリ族独自の時空の旅を描いたウィエダ兄弟。

立ち止まることなく、旅を続ける6人と1組の作家が集っています。

はるかインドの地で始まり、猪苗代町でもいろいろな仕事、いろいろな立場で携わる実行委員たちがスクラムを組んで開催しているWAF。

この芸術祭もまた、壮大な旅を続けています。

描かれた壁画の中でワークショップをする猪苗代アートプロジェクトが立ち上がって2年目です。

この町では、誰もがアーティストになる可能性を秘めています。

誰もが旅の途中にいて、新しい出会いにワクワクしているのです。

この旅で出会えたことに祝福を！

NPO 法人ウォールアートプロジェクト / アートディレクター
おおくにあきこ